

2020 年度学力試験問題の「出題意図」・「評価ポイント」・「解答例」について

英 語 【昼間・夜間主コース 一般入試：前期日程】		
<p>大学入試センター試験では十分に確かめることができない英文の読解・内容把握、英語による表現・記述力等を見ることに主眼を置いています。</p>		
	出題意図または解答例	評価ポイント
問題 1	<p>まとまった分量の英文を正確に読み取り、指定された回答を導く疑問文を英語で書かせる問題。文章読解力に加え、コミュニケーションとして各種の疑問文を的確に作成するだけの英語運用能力があるかどうかを試すことが目的。</p>	<p>英文の内容について、疑問詞が適切かどうか、文法的に正確かどうか、自然な英語で質問できているかどうかを中心に答案を評価した。</p>
問題 2	<p>英語で書かれた文章を正確に読みとり、その内容の真偽について判断する力をみる。文章の内容に応じて誤りを修正する力を見る。</p> <p>解答例</p> <p>1. False 2. False 3. True 4. False 5. True 6. True 7. True 8. False 9. False 10. True</p>	<p>英文の内容について、その真偽を判断するとともに、間違いを的確に修正できているかどうかを評価した。文法的な間違いは減点の対象になるが、英文の内容と異なる内容を作成した場合は、得点にならない。また設問の文章が否定文なら not などの否定語を省くだけ、肯定文なら not など否定語を加えるだけでも得点とはならない。内容を理解した上での修正が必要となる。</p>
問題 3	<p>英語で書かれた文章を正確に読みとり、その内容に関して英語で解答する力をみる。</p>	<p>英文の内容について、文法的に正しく適切な英語を使って解答できているかどうかを評価した。</p>
問題 4	<p>日常生活のさまざまな場面で使われる対話に関して、文脈を適切に理解しており、その文脈に応じて適切な文法で、より自然な英語で会話文を作成する力をみる。</p>	<p>対話の流れを把握し、適切な文脈の意味理解と文脈に応じた英語で適切な受け答えができているかどうかを評価した。文法的に軽微な誤りは減点の対象とはなるが、文脈に合う適切な回答や質問の文が書かれていなければ文法的には正しくても得点とはならない。</p>

<p>問題5</p>	<p>大学のさまざまな分野で学ぶために必要な英語の作文力をみる。特に質問文を熟読し言語の文体や体裁に気を付けながら、与えられた文字数で適切に文章を書く力もみている。今年の問題の場合は 5a の話を創作する場合は口語も認められるが、5b のグラフを説明する場合は書き言葉が期待される。5a の出題は、最初と最後の文に論理的でつながるものを分かりやすい文章で書く能力を測るものである。5b はグラフを読み解いた上で、明瞭な作文の主題を決め、その主題に沿った議論を導入部から結論部に向けて構築した作文能力を見る問題である。</p>	<p>適切な英語で自分の考えを論理的に表現・記述しているかどうかを評価した。したがって問題文の単なる書き写しは作文ではないことに留意すること。高得点を得るには、適正な語彙や接続詞や文体が使用され、単純な文法や構造を多用せず、高等学校の英語で習得した文法や構文も適切に用いられた文章にする必要がある。つづりの間違い、句読点法のミス、文法的な間違い(話法、時制、仮定法の間違いが散見された)は減点対象とした。質問と無関係な作文は、得点にはならない。</p>
------------	--	--